

## 枯れ葉剤被害者支援

枯れ葉剤被害を歴史に刻み“忘却”しないための

## ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート 2019 による支援活動のご報告

この度は、ベトナム戦争枯れ葉剤被害者支援のための「ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート2019」(企画：IFCC 国際友好文化センター、共同企画：JVPP 日本ベトナム平和友好連絡会議)に御協力頂きありがとうございました。

アンサンブルメンバー(国立ボンセン歌舞団選抜グループ)は、2019年10月15日に来日し、8箇所で開催されたチャリティーコンサート、2箇所で開催された友好活動(埼玉・東松山市と西東京市の小学校で民族楽器紹介・演奏)を行い10月28日に離日致しました。

来場者は約2,000人、チケット購入協賛者は2,800人ほどとなりました。公演回数は少ないでしたが夫々の公演は予想を超える参加者で主催者や公演実行委員会の方々のご尽力の賜物と感謝する次第です。

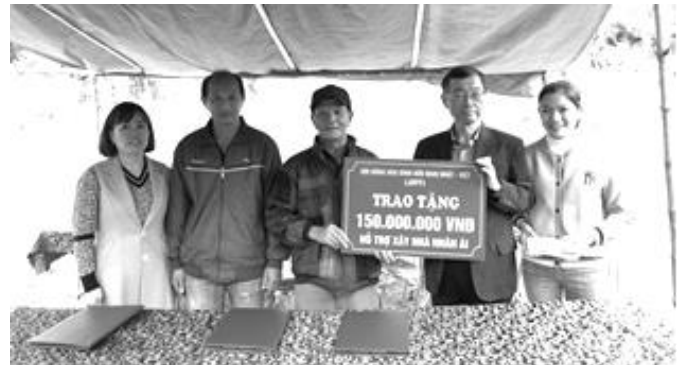
また2019年で24年目となりこれまで385会場で来場者数は約115,000人を数えることになりました。

今回の公演では、歌舞団は宮古市の東日本大地震被災復興祈念植樹跡も訪ね、祈念の気持ちをあらたにしました。

### 2019 公演収支報告 (2019/10/16~10/28)

《支出》	
招聘経費	941,307
国際航空運賃、出国 TAX、査証書類及査証代等 11人	
移動費	1,054,732
バス代、移動費 13日間	
滞在費	1,319,686
宿泊費、食費、他	
事務局費	802,941
人件費、添乗費、出張旅費、通信・送料、事務雑費	
宣伝物作製費	239,640
プログラムパンフ等	
保険料	30,000
頒布物賃仕入	178,785
公演製作費(謝礼含)	840,000
アンサンブル団員、通訳、製作経費	
支援事業関連経費	330,060
19進捗管理費 330,060円、次期準備費 0円	
支援金	793,345
19支援活動(仁愛の家寄贈 750,000円)、慰問費	
特別支出(著作権)	0
<b>支出合計額</b>	<b>6,530,496</b>
《収入》	
繰越金	88,358
18支援プール金	
公演謝礼金(8公演)	4,824,574
協賛広告費	330,000
物資頒布	399,100
雑収入	120,000
村山日本語学校	
寄付金	323,371
会場カンパ、支援金(東松山 100,000 南魚沼 89,246)	
自己資金	0
借入金	445,093
IFCCより	
<b>収入合計額</b>	<b>6,530,496</b>

- 19 枯れ葉剤被害者支援事業費 1,123,465
- 19 年度借入金 -445,093
- 「仁愛の家」寄贈には宮崎様の寄付金 500,000円を活用充当



150,000,000 ベトナムドン寄贈式を終えた模様。「仁愛の家」を-Hoang Van Khoaさん(72歳)へ寄贈(中央)。右から二人目が川畑匡・訪問団団長

た。また、盛岡では公演を期に JVPP 岩手の結成が行われました。

西東京市の東京公演ではギタリストの橋本道範さんにゲストとして協賛いただきました。また、西東京市の小学校の民族楽器紹介・演奏に参加した小学生全員からボンセン歌舞団に手紙をいただいたことなど嬉しいこともありました。枯れ葉剤被害者支援チャリティーのみならず、日越友好の民間大使としての役割も果たすことができ有難く思っております。

その他、東松山公演実行委員会から100,000円、南魚沼公演実行委員会89,246円の寄付をいただきました。

2019年がハザン省での枯れ葉剤被害者貧困家庭への「仁愛の家」寄贈活動の開始年でもあり、ご協力いただいた方々の志の浄財を基に、2020年1月10日からベトナム・ハザン省に赴き枯れ葉剤被害者貧困家庭への「仁愛の家」寄贈と慰問をしてきました。これには JVPP 理事・宮崎勇雄さんからの寄付金500,000円も充てました。あわせて、ご報告いたします。

わたしたちの慰問・調査活動及び『仁愛の家』寄贈活動は「わたしの体の中では戦争が終わっていない」という枯れ葉剤爆弾被害者の叫びを受け止め、忘却しないよう記録し、そして歴史に刻んでいく活動です。

これまで北部のハザン省から南部カントー市まで18行政区を訪ねてきました。

小さな活動ですが、「灯し続けて」いきたいと思います。

(記：鎌田)

# 2019年度の慰問・調査及び『仁愛の家』寄贈活動から

JVPF 訪問団は 2020 年 1 月 12 日ハザン省で調査・慰問と支援活動を実施しました。(詳細は JVPF 会報『ホアビンレポート』4 9 号に掲載予定 (2020 年 7 月))

## 【資料】『仁愛の家』寄贈先の状況

ハザン省友好委員会より

**Hoang Van Khoa 家族** 新しい家を建設する。経費 150,000,000VND

名前：Hoang Van Khoa 男性 1949 年生まれ。現在、ハザン省 Bac Quang 郡 Bang Hanh 地区の枯れ葉剤被害者協会の会員。

住所：ハザン省 Bac Quang 郡 Bang Hanh 地区 Trung Tam 部落。

家族の状況：1971 年 1 月 Khoa さんは入隊 (371 大隊-351 砲兵部隊) し Quang Tri (中部の米国が化学毒素を使用した地域) の戦場で戦いました。

1977 年に Ha Tuyen 省に帰りましたが 1979 年に北の国境を守るためにもう一度入隊し Quan Ba 郡 (Ha Tuyen 省：当時) に駐留しました。

1982 年 7 月、彼はその地域の農民として働くことを許可されましたが、地元に戻った後、彼は長い期間エージェントオレンジ/ダイオキシンの影響を受けていたため (Quang Tri の戦場に 7 年間直接参加)、彼はしばしば病気になり、労働できないため、彼の家族は困窮な状況になりました。

彼と彼の妻は安定した仕事を持っていませんでした。収入は農業だけに依存しており、食べるのに精一杯です。Hoang Van Khoa には、2 人の子供がいますが戦地に赴く前にできた子は健康だが、戦地から帰省した後に生まれた子供はエージェントオレンジ/ダイオキシンの影響を受け後遺症があります。現在、彼は高齢であり非常に困難な経済状況のために、彼の家族にはしっかりした家を建てる能力がありません。彼らはまだ竹でできた家に住んでおり、ヤシの葉の屋根は深刻に劣化しており、雨季には安全ではありません。



右...現在の Khoa さんの家  
左...現在の Khoa さんの家  
下の写真も協力して行われる



ハザン省での慰問・調査は 3 軒の予定でしたが、時間の都合で『仁愛の家』寄贈の Khoa さんと同じ Bac Quang 郡の Thanh Binh 村 Ngoi さん宅しか訪問できませんでした。あと 1 軒は寄付金とお土産を Bac Quang 郡社会福祉部担当者に託しハザンを後にしました。

帰国後すぐにハザン省から次回『仁愛の家』寄贈の要請と寄贈先情報が届きました。そのため 2020 年度ベトナムアンサンブルチャリティーコンサートが準備中です。



右...写真中央が Khoa さん (71 歳) と奥さんが (67 歳)。その右は次女 (23 歳)。その左は長女 (67 歳) の子で、知的障害と目の障害がある。長女は水頭症で、冬の寒い時期は 0℃にもなるという。竹で作った隙間の多い手作りの家を改装もできない貧困状況。

